

人々の情熱を浴びて、このトマトは育っていく。

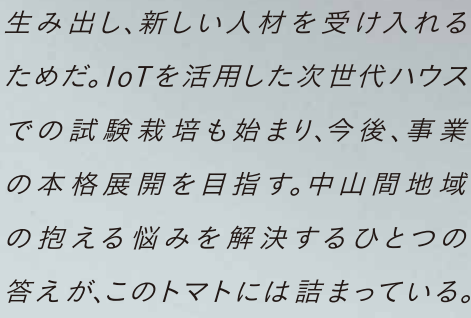
萩アグリ株式会社／山口県



深刻な高齢化や過疎化が進む、山口県萩市東部地域。「このままでは地域が崩壊してしまう」そんな危機感のもと生まれたのが、萩アグリ株式会社。集落営農法人の連合体だ。7つの法人が力を合わせたことは全国でも珍しいという。資材の一括購入、機械の共同利用など、農業のコストを減らすのが狙いだ。



そんな萩アグリの新しい挑戦が、冬春トマト。冬場の仕事が減るこの地域に年間を通じた雇用を生み出し、新しい人材を受け入れるためだ。IoTを活用した次世代ハウスでの試験栽培も始まり、今後、事業の本格展開を目指す。中山間地域の抱える悩みを解決するひとつの答えが、このトマトには詰まっている。



一般社団法人
農林水産業みらい基金

未来は、いつだって、現場から生まれる。私たち農林水産業みらい基金は、JA(農業協同組合)・JF(漁業協同組合)・JForest(森林組合)グループの一員である農林中央金庫によって設立されました。

詳しくは [農林水産業みらい基金](http://www.miraiikin.org/) 検索
<http://www.miraiikin.org/>

